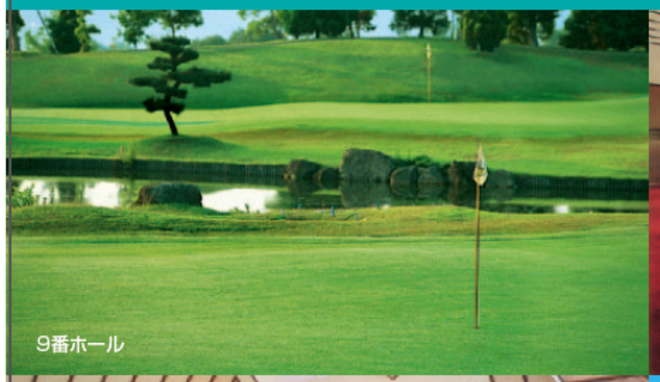
8番ホール

|ゴ|ル|フ|場|探|訪|

シプレカントリークラブ（奈良県）

大和ハウスグループが展開するゴルフ場のフラッグシップ的存在
造形美とバラエティー豊かな戦略性に富んだダイナミックな18ホールズ


9番ホール

レストラン

8番ホール

ロビー

18番ホール

ファーストクラスの雰囲気が味わえる、ゆったりとしたクラブライフ
メンバーシップ制の原点を継承した会員本位の運営に定評

開場は1992年（平成4年）5月17日。20年の星霜がコース全体に磨きをかけ落ち着いた雰囲気を醸し出している。コースは、万葉人が詠んだ大和路の五條市の緩丘陵地約124万㎡（約37万5、000坪）に18ホール規模でゆったりとレイアウトされている。雄大な自然が作り上げた造形美をふんだんに取り入れ、耽美派として知られる三浦一美氏がインテリジェンスを吹き込んだ設計は、関西圏でも高いゲーム性を持ったコースとして人気が高い。開場後3年目にしてKGU関連競技の会場となるなど、その完成度の高さは当初より注視を集めた。

各ホールは個性豊かで飽きの来ない構成。18ホール中5ホールに池が絡みロケーションの美しさも心象風景に残る。グリーンはベント（ペンクロス）の1グリーン仕様（約750㎡）と大きい。3段グリーンあり、変化に富んだアンジュレーションありで攻略にはテクニックと頭脳的プレーが求められるが、ホールアウト後のドラマティックな感動は個々人のラウンド数の1シーンに刻まれるはずだ。

クラブハウス（約2、379坪）は「おもてなしの心」から生まれたと言うだけに豪華さの中にしっとりとした質感、ゆったりとした空気感が流れ、訪れるゴルファーをファーストクラスの第1級の温かさで迎えてくれる。クラブライフにもその趣が浸透しており、メンバーとしての喜びと満足感が味わえる。コース・クラブハウス、諸施設すべてが、ゴルフは単なるスポーツではなくエグゼクティブなレジャーとしてあるべきとするシプレカントリークラブの運営コンセプトが満ち溢れたものになっている。

開場20周年記念で追加会員を252・5万円で募集中
総合評価も高くホームコースとしても注目銘柄に

現在の総会員数は650名以内で少数。会員の質も高くハイソサエティーなイメージがあるが、会員間の交流も盛んでアットホームな雰囲気は居心地の良さを物語っている。会員権の募集で特筆すべきは預託金の据え置き期間を設けていないことだ。預託金は大和ハウス工業にて預かるシステムで信頼度が高い。また関連ゴルフ場が全国に9コースありクラブライフの広がりが楽しめる。関西エリアにはコムウッドGC（滋賀県）、タートルエースGC（三重県）がある。さらに、全国29箇所に展開しているダイワロイヤルホテルズもグループ企業として名を連ねており、エグゼクティブレジャーの全体構成がコースの価値観を高めている。

今回の募集人員は第1次募集のため150名。最終正会員数は1、380名と明確に打ち出している。

南阪奈道路の開通によりアクセスも一段と良化した。クラブ競技会も盛んで活気がある。関西のゴルフ関係メディアでも取り上げられることが多いが、総合評価の高いゴルフ場のひとつである。

1番ホール

コースデータ

- コース規模＝18ホール、6751ヤード、パー72
- コースレート＝男性72・3／女性77・6
- 交通＝
  南阪奈自動車道路・葛城インターから約25分
  国道24号線五條市本陣交差点から5分。
  JR和歌山線・五條駅から車で10分。
  南海高野線・林間田園都市駅から車で15分。